

囲碁入門講座通信 令和3年 第37号



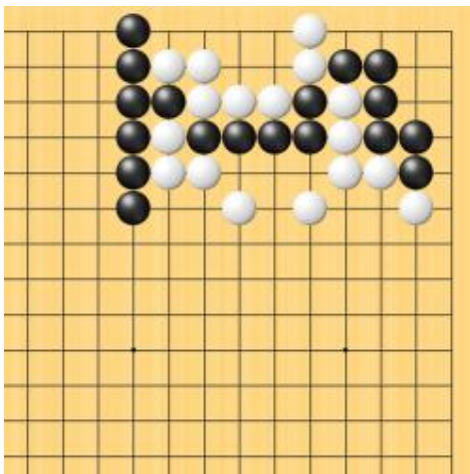
報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。
(棋士名は碁に因んだ名をニックネームとして表記しています)

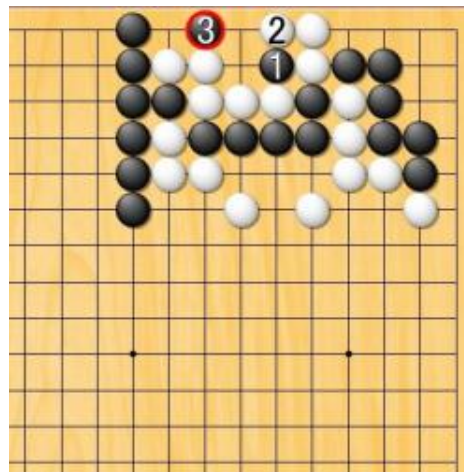
今号は入門者用にやさしい攻め合い問題をご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)
ダメの数では負けでも、手筋の力で石を取る 単純にダメを詰めていくのでは、自分の石が先に取られてしまうような場面で、手筋の力を借りて攻め合いに勝つ手順を考えていただきます。①相手の手数を縮める手筋と②自分の手数を伸ばす手筋の力を借りて・・・

攻め合い問題3 黒番

真ん中の黒石5子を助けてください。

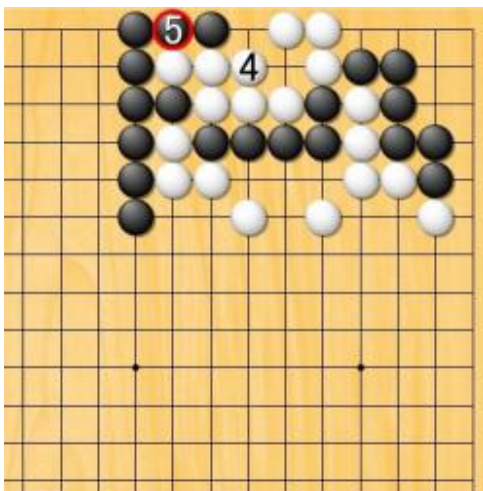


問題3 正解図



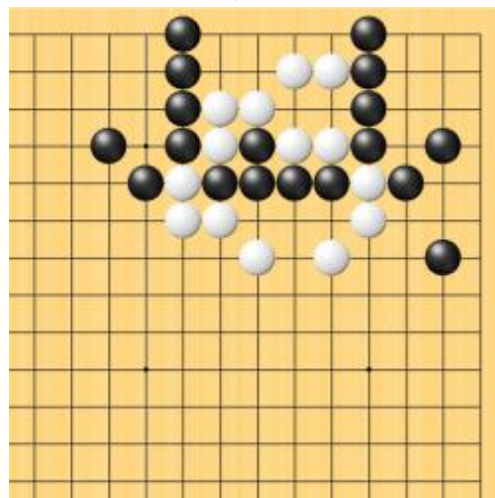
黒1と切り込みます。白2には黒3がちょっと格好いい手で、白はこの石を遮れません。なお、黒3は3の左でも結果は同じです。この後、白が黒1の石を抜くと…。

問題3 正解図2



黒5とつながり、あと2手で白が取れます。なお、左図黒1以外の手は、白2で1のところに打たれて、すべて失敗に終わります。

攻め合い問題4 黒番



真ん中の黒石5子を助けてください。

正解と解説は次号(第38号)でご案内します。